

平成28年度
 社会福祉法人 心友会
 事業報告



実施事業名	事業所名
障害者支援施設 定員40名 (生活介護40名/施設入所支援40名)	しいのみ園
短期入所 定員18名	
日中一時支援 定員10名	
共同生活援助 定員25名	しいのみ園ほんだ
多機能型 定員30名 (生活介護20名、就労継続支援B型10名)	しいのみ園ころろ
生活介護 定員20名	しいのみ園ころろの都
放課後等デイサービス 定員10名 定員10名	しいのみ園ともたかだ しいのみ園ともみやこ
特定相談支援、一般相談支援、障害児相談支援 千葉県障害児等療育支援	相談支援センターしいのみ
地域包括支援事業	福祉のまちづくり支援室

基本理念・職員の使命 P 3

職員倫理綱領 P 4

職員行動規範 P 5～7

社会福祉法人心友会沿革 P 8～10

社会福祉法人心友会理事・評議員会開催状況 P 11～13

I. 総務課

1. 総務係 P 1 4
2. 施設管理係 P 1 5
3. 医務係 P 1 6～1 7
4. 給食係 P 1 8

II. 施設入所支援課

1. 障害者支援施設しいのみ園 P 1 9～2 2
(1) 施設入所支援 (2) 日中一時支援 (3) 生活介護 (4) 短期入所

III. 相談支援課 相談支援センターしいのみ

1. 特定相談支援事業・障害児相談支援事業 P 2 3～2 4
2. 一般相談支援事業 P 2 5
3. 千葉県障害児等療育支援事業 P 2 6～2 9

IV. 地域生活支援課

1. 共同生活援助事業所
しいのみ園ほんだ P 3 0～3 1
2. 多機能型事業所しいのみ園ころ P 3 2～3 4
3. 生活介護事業所しいのみ園ころの都 P 3 5～3 6
4. 放課後等デイサービス事業所
しいのみ園ともみやこ P 3 7～4 0

しいのみ園ともたかだ	P 4 1 ~ 4 3
5. 福祉のまちづくり支援室	P 4 4 ~ 4 5

V. しいのみ園グループ委員会

1. 防災管理委員会	P 4 6 ~ 4 8
2. 給食委員会	P 4 9
3. 衛生委員会	P 5 0

VI. 決算報告

1. 貸借対照表	P 5 1
2. 事業活動収支計算書	P 5 2
3. 資金収支計算書	P 5 3
3. 経営指標（2期分）	P 5 4
4. 人事記録	P 5 5
5. 事業組織図	P 5 6

社会福祉法人心友会

心友会

社会福祉法人心友会は、社会福祉法の理念に従い、法人の理念を定め実践する。

基本理念

親亡き後の子供達の為、国際社会、地域社会で人間らしく安心・安全・共生できる心豊かな施設づくり

職員の使命

1. 私達は、常に感謝の気持ちを持ち支援し続ける
2. 私達は、常に初心に戻り、自己研鑽し支援に活かし続ける
3. 私達は、利用者にとって最善の支援を考え実行し続ける
4. 私達は、地域の社会資源として、地域と共に歩み続ける
5. 私達は、福祉の未来を創造し続ける

社会福祉法人心友会職員倫理綱領

職員は、利用者一人ひとりの尊厳を守り、利用者がその人らしい自立した豊かな人生を自己実現できるよう支援することに努めなければなりません。

ここに、職員一人ひとりがその専門的役割を自覚するとともに、職員全員が共に協調し、公正かつ適切な支援をするための基本となる「職員倫理綱領」を定め、私たちの規範とします。

第1条 人権の擁護

いかなる差別、虐待、人権侵害も許さず、利用者の基本的人権を尊重し、擁護します。

第2条 人格の擁護

利用者の個性、主体性、可能性及び意思を尊重し、常に対等な立場で支援します。

第3条 心身の安全と健康の保持

利用者一人ひとりをかけがえのない存在として、心身の安全と健康の保持に努めます。

第4条 プライバシーの保護

利用者一人ひとりの尊厳を守るため、利用者のプライバシーの保護に努めます。

第5条 財産の管理

利用者の金銭や所有物等の財産については適正な管理に努めます。

第6条 専門的な支援

専門家としての使命と役割を自覚し、絶えず自己研鑽を重ね、自らの社会性の確立を図り、利用者に対する適切な支援の提供に努めます。

第7条 業務の透明性

利用者及びその家族等に対し、適切な情報の提供を行うことにより、業務の透明性の確保に努めます。

社会福祉法人心友会職員行動規範

この行動規範は、職員一人ひとりが「社会福祉法人心友会職員倫理綱領」に則り、利用者の人権を擁護し、公正かつ適切な支援をするための基本として定めます。

1. 基本的事項

(1) 人権の擁護

- ① 利用者に対する命令的、威圧的、権威的な言葉使いや態度を慎み、常に対等な立場で、利用者主体の支援を行います。
- ② 家族・関係機関等との連携を図りながら、利用者一人ひとりのニーズに対応したサービスの提供を行います。
- ③ 利用者が障害の態様等に関わりなく、地域社会を構成する一員としてあらゆる体験の機会を得られ、市民生活が送れるよう支援します。

(2) 人格の尊重

- ① 利用者をあだ名や呼び捨てで呼ぶことを慎み、呼称は「～さん」などの敬称を基本とします。
- ② 職員を「先生」と呼ばせること。また、職員間で「先生」と呼び合うことは慎みます。
- ③ 利用者の施設利用の開始に際しては、事前に見学や面接を行い、施設利用の目的、期間等を確認し、施設の基本方針、サービスプラン等を十分に説明するとともに、本人の施設利用の意思を確認します。
- ④ 利用者の生活歴を把握し、人としてより豊かな生活が送れるよう支援します。
- ⑤ 施設利用の終了については、本人及び家族等の意思を十分に確認し、適切に対応します。

(3) 心身の安全と健康の保持

- ① 利用者の生活環境の整備を推進し、事故防止と安全確保に努めます。
- ② 常にきめ細やかなケアを心掛けるとともに、日頃から医療機関との綿密な連携を図り、利用者の健康保持に配慮します。
- ③ 利用者の薬の服用については、服用内容を十分確認し、適切に行います。
- ④ 利用者に関わる事故や疾病については、速やかに家族等に知らせ、本人及び家族等に十分説明します。

(4) プライバシーの保護

- ① 職務上知り得た利用者の個人情報等については、秘密を保持します。
- ② プライベートな時間と場が確保されるよう配慮します。
- ③ 居住空間については、プライバシーを守ります。
- ④ ソーシャルメディア（ブログ、フェイスブック、ツイッター、掲示板、ホームページ等インターネットを利用した情報発信媒体をいう。）において機密情報を発信することも機密情報の使用、開示又は漏洩に当たるため、当該行為を絶対に行わないことを誓約いたします。

(5) 財産の管理

- ① 利用者の年金や預り金等の管理は、「金銭管理要綱」に基づき適切に行い、事故防止に努めるとともに、その使用については、利用者及び家族の意思に基づき行えるよう支援します。

(6) 専門的な支援

- ① 利用者一人ひとりの個性や障害態様等に応じ、可能性を伸ばし自立を促すような支援を行います。
- ② 利用者の意思を尊重し、各職員がその支援内容を共有し、連携のもとに支援します。
- ③ 利用者と支援者の対等な関係に基づく、信頼と納得が得られるサービスプランの立案を行います。
- ④ 利用者の生活が、社会一般の文化や生活習慣などができるだけ反映されたものとなるようにします。
- ⑤ 利用者が社会的なマナーやルールを身につけられるように、多様な機会を提供します。
- ⑥ 利用者が地域の社会資源を活用した体験の機会を多く持てるようにします。
- ⑦ 全ての利用者にとって「働く」ことの意義の理解が進むようにします。
- ⑧ 地域生活や就労生活に関する利用者の意向を尊重し、その可能性を育み実現に向け支援します。
- ⑨ 利用者の生活環境に配慮し、生活の場と作業の場を可能な限り明確に区別するようにします。

(7) 業務の透明性の確保

- ① 施設運営、支援内容等に関し、利用者や家族に定期的に説明するとともに、意見、要望等を聞く機会を設け、利用者等の意見が反映されるようにします。
- ② サービスの自己評価制度及び苦情解決制度を実施することにより、利用者に対するサービスの質の向上を図ります。

2. 日常生活における支援体勢

- ① 常に利用者と職員の挨拶を励行するとともに、利用者の日常的な会話に耳を傾け意思の疎通と情緒の安定を図ります。
- ② 利用者に対し、日常生活や行事等の日程は予め確実に伝え、円滑に日常生活を送れるようにします。
- ③ 食事や入浴等、生活時間にゆとりを持たせ、楽しくゆったり過ごせるようにします。
- ④ 利用者との交わした約束は守ります。

3. 禁止事項

ここに定める事項は、職員一人ひとりが厳に謹み、行ってはなりません。したがって利用者個々の状況により、一定の制限行為を実施する場合には、緊急止むを得ない場合及び事前に本人・家族等に十分説明し承諾を得た場合に限られます。また、この場合講じられる措置は、事業計画や個別支援プログラム等に明記し位置づけられ、実施される必要があります。

(1) プライバシー侵害の禁止

- ① 利用者の入浴、衣服の着脱、排泄等の際に異性職員による介助及びこれに準ずる支援をすること。

- ② 利用者個人宛の郵便物等を本人の了解なしに開封すること。
- ③ 利用者の衣服の着脱やトイレ使用の際、人目にふれるなど配慮に欠けること。
- ④ 本人の了解なしに居室に入ったり、所持品の確認をすること。
- ⑤ 利用者本人や家族の了解を得ずに、本人の写真、名前又は製作者名の入った作品を掲載、展示したりすること。

(2) 制限の禁止

- ① 自傷や他の利用者に害を与えるなどの理由により、安易に行動上の制限を加えること。
- ② 利用者と家族、知人との間の電話や手紙など制限すること。
- ③ 利用者の帰省、面会、外出等の自由を一方的に制限すること。

(3) 強要の禁止

- ① 命令口調や態度で利用者に指示すること。
- ② 作業等の諸活動に対し、いたずらにノルマを課すこと。
- ③ 施設側の都合で帰省や施設利用の終了を強要すること。
- ④ 利用者個々の人格を無視した画一的な行為を強要すること。

(4) 差別の禁止

- ① 殴る、叩く、蹴る等の暴力行為を行うこと。
- ② 正座・直立させるなどにより肉体的苦痛を与えること。
- ③ 身体拘束、閉じこめ等、行動を制限する行為を行うこと。
- ④ 健康上の理由のない食事制限や長時間の放置をすること。
- ⑤ 命令的、威圧的な言葉遣いや態度又は無視等による精神的苦痛を与えること。
- ⑥ 性的嫌がらせ、わいせつな行為をすること、又はわいせつな行為をさせること。
- ⑦ 利用者に関わる体罰等を見て見ぬ振りをすること。

社会福祉法人 心友会 沿革

平成10年 7月	社会福祉法人心友会設立準備委員会立ち上げ 千葉市緑区高田町知的障害者入所更生施設準備委員会開設
平成14年 3月20日	社会福祉法人心友会設立の認可（社会福祉法第32条の規定） 千葉市指令保障第406号
平成15年 3月1日	知的障害者更生施設「しいのみ園」 認可 事業者番号12100200033318 知的障害者短期入所「しいのみ園」 認可 事業者番号12100200033136
平成15年 4月1日	千葉市緑区高田町に知的障害者更生施設しいのみ園開所 （定員 50名 短期入所 6名）
平成17年 4月1日	児童短期入所認可（定員 宿泊6名 日中預かり15名）
平成18年 4月1日	自活訓練事業認可（定員2名） 事業者番号12100200033318
平成18年 10月1日	障害者自立支援法施行に基づく指定障害者福祉サービス事業 短期入所「しいのみ園」 認可 事業所番号1210100762
平成19年 4月1日	日中一時支援事業所認可（千葉市委託） 事業所番号1260100761 （定員 日中預かり型10名 放課後対策型15名）
平成20年 6月1日	共同生活介護・共同生活援助事業「しいのみ園ほんだ」 認可 事業所番号1220100216 運営開始（定員6名）（しいのみ園あゆみ）
平成20年10～3月	障害者自立支援基盤整備事業 しいのみ園デイコーナー増築・新支援員室の新設
平成21年 4月1日	生活介護事業「しいのみ園こころ」 認可 事業所番号1210101653 運営開始（定員20名）
平成21年 4月10日	共同生活介護・共同生活援助事業「しいのみ園ほんだ駅前」 運営開始（定員6名）（しいのみ園のぞみ）
平成21年 12月3日	韓国 学校法人 瑞江学園 瑞江情報大学 交流協約書の締結
平成22年 3月	財団法人中央競馬馬主社会福祉財団様 社団法人中山馬主協会様の助成により しいのみ園1階2階共用部廊下張り替え工事
平成22年 4月	千葉市障害児等療育支援事業認可（千葉市委託）
平成22年 7月	児童デイサービス（Ⅱ型）事業「しいのみ園とも」 認可 事業所番号1210100762 運営開始（定員10名）
平成23年 3月	社会福祉法人 清水基金様の助成によりトヨタノア購入

社会福祉法人 心友会 沿革

平成23年 4月	共同生活介護・共同生活援助事業「しいのみ園ほんだ2丁目」 運営開始（定員6名）（しいのみ園ひかり）
平成23年 4月	生活介護事業「しいのみ園こころの都」認可 事業所番号1210102065 運営開始（定員20名）
平成23年 5月	「しいのみ園とも」 「しいのみ園こころの都」事業所へ移動
平成23年 11月	財団法人 J K A 様（オートレース補助事業）の助成によりトヨタハイエース購入
平成24年 4月	障害者自立支援法新法移行 障害者支援施設「しいのみ園」 事業所番号1210100762 運営開始（定員 生活介護40名/施設入所支援40名）
平成24年 4月	共同生活介護・共同生活援助事業「しいのみ園ほんだみどり」 運営開始（定員7名）（しいのみ園つばさ）
平成24年 4月	放課後等デイサービス事業「しいのみ園とも みやこ」事業所番号1250100144 運営開始（定員10名）
平成24年 4月	放課後等デイサービス事業「しいのみ園とも たかだ」事業所番号1250100136 運営開始（定員10名）
平成24年 4月	特定相談支援事業所「相談支援センターしいのみ」 認可 事業所番号1230100271 運営開始
	障害児相談支援事業所「相談支援センターしいのみ」 認可 事業所番号1270100033 運営開始
	指定一般相談支援事業所「相談支援センターしいのみ」 認可 事業所番号1230100271 運営開始
平成24年 4月	日中一時支援事業所（放課後対策型） 千葉県サービスの廃止により事業廃止
平成24年 7月	社会福祉法人 千葉県共同募金会様の助成により スズキワゴンR購入
平成24年 7月	障害者自立支援基盤整備事業 しいのみ園厨房/食堂 増改築工事
平成25年 4月	障害者総合支援法に移行
平成26年 3月	日本財団様の助成により スズキキャリィ購入
平成26年 4月	千葉県障害者短期入所増床事業 定員16名から18名へ変更
平成26年 4月	しいのみ園ほんだ 共同生活援助事業へ一元化
平成26年 6月	経済連携協定（EPA）事業を国際貢献事業として捉え受け入れ準備 （平成27年度フィリピン介護福祉士候補2名）
平成27年 3月	日本財団様の助成により ホンダ ステップワゴン2台購入
平成27年 3月	千葉県GHスプリンクラー整備事業 しいのみ園ほんだ（あゆみ、のぞみ、ひかり、つばさ）スプリンクラー整備完了

社会福祉法人 心友会 沿革

平成27年 12月	経済連携協定（EPA）事業を国際貢献事業として捉え受け入れ開始 （平成27年度フィリピン介護福祉士候補2名）
平成28年 2月	地域包括支援事業「福祉のまちづくり支援室」開設
平成28年 3月	29人乗りマイクロバス トヨタコースター購入
平成28年 3月	日本財団の助成により しいのみ園こころの都 ホンダステップワゴン購入
平成28年 3月	しいのみ園 大規模修繕工事完了
平成28年 3月	千葉県指定障害者グループホーム整備事業の助成により 「しいのみ園ほんだ藤沢」（さくら寮）新築工事完了
平成28年 3月	千葉県障害者グループホーム自動火災報知設備整備補助金により 「しいのみ園ほんだ」（あゆみ寮）自動火災報知設備整備 「しいのみ園ほんだ駅前」（のぞみ寮）自動火災報知設備整備
平成28年 12月	経済連携協定（EPA）事業を国際貢献事業として捉え受け入れ （平成28年度フィリピン介護福祉士候補2名）
平成29年 2月	日本財団の助成により しいのみ園 ホンダN-BOX購入

平成28年度理事・評議員会及び評議員選任・解任委員会の開催状況

社会福祉法人 心友会

1. 会議の開催

(1) 理事会開催

第46回理事会 平成28年5月28日

〈議決事項〉

- 第1号議案 平成27年度 社会福祉法人心友会決算（案）の件
- 第2号議案 平成27年度 社会福祉法人心友会事業報告（案）の件
- 第3号議案 しいのみ園こころ運営規程変更（案）の件
- 第4号議案 生活介護事業所 新規創設（案）の件
- 第5号議案 処遇改善手当に関する給与規程変更（案）の件

第47回理事会 平成28年11月26日

〈議決事項〉

- 第1号議案 平成28年度 社会福祉法人心友会中間決算（案）の件
- 第2号議案 平成28年度 社会福祉法人心友会第一次補正予算（案）の件
- 第3号議案 社会福祉法人 心友会 定款変更（案）の件
- 第4号議案 しいのみ園職員福利厚生 サポート倶楽部加入（案）の件
- 第5号議案 社会福祉法人心友会役員報酬基準（案）の件
- 第6号議案 社会福祉法人心友会役員等候補者の選定（案）の件

第48回理事会 平成29年3月18日

〈議決事項〉

- 第1号議案 平成28年度 社会福祉法人心友会第二次補正予算（案）の件
- 第2号議案 平成29年度 社会福祉法人心友会事業計画（案）の件
- 第3号議案 平成29年度 社会福祉法人心友会予算（案）の件
- 第4号議案 社会福祉法人心友会新評議員選任候補者推薦（案）の件
- 第5号議案 管理者人事（案）の件
- 第6号議案 社会福祉法人役員賠償責任保険加入（案）の件
- 第7号議案 福祉のまちづくり支援室における新規学童保育事業（案）の件
- 第8号議案 処遇改善加算の拡充に伴う給与規程、就業規則及び等級管理規程（案）の件
- 第9号議案 社会福祉法人心友会 経理規程及び同細則変更（案）の件
- 第10号議案 社会福祉法人心友会定款細則（案）の件

(2) 評議員会開催

第46回評議員会 平成28年5月28日

〈議決事項〉

- 第1号議案 平成27年度 社会福祉法人心友会決算(案)の件
- 第2号議案 平成27年度 社会福祉法人心友会事業報告(案)の件
- 第3号議案 しいのみ園こころ運営規程変更(案)の件
- 第4号議案 生活介護事業所 新規創設(案)の件

第47回評議員会 平成27年11月26日

〈議決事項〉

- 第1号議案 平成28年度 社会福祉法人心友会中間決算(案)の件
- 第2号議案 平成28年度 社会福祉法人心友会第一次補正予算(案)の件
- 第3号議案 社会福祉法人 心友会 定款変更(案)の件
- 第4号議案 しいのみ園職員福利厚生 サポート倶楽部加入(案)の件
- 第5号議案 社会福祉法人心友会役員報酬基準(案)の件
- 第6号議案 社会福祉法人心友会役員等候補者の選定(案)の件

第48回評議員会 平成29年3月18日

〈議決事項〉

- 第1号議案 平成28年度 社会福祉法人心友会第二次補正予算(案)の件
- 第2号議案 平成29年度 社会福祉法人心友会事業計画(案)の件
- 第3号議案 平成29年度 社会福祉法人心友会予算(案)の件
- 第4号議案 社会福祉法人心友会定款細則(案)の件
- 第5号議案 管理者人事(案)の件
- 第6号議案 社会福祉法人役員賠償責任保険加入(案)の件
- 第7号議案 福祉のまちづくり支援室における新規学童保育事業(案)の件
- 第8号議案 処遇改善加算の拡充に伴う給与規程、就業規則及び等級管理規程(案)の件
- 第9号議案 社会福祉法人心友会 経理規程及び同細則変更(案)の件

(3) 評議員選任・解任委員会開催

第1回評議員選任・解任委員会 平成29年3月18日

〈議決事項〉

- 第1号議案 平成29年4月1日施行、改正社会福祉法に伴う評議員解任(案)の件
- 第2号議案 平成29年4月1日施行、改正社会福祉法に伴う新評議員選任(案)の件

I. 総務課

1. 総務係

作成者 中根慶太

運営総括

社会福祉法の改正に伴った、経営組織の見直し、定款、規程類の変更等、各種手続きを円滑に行った。平成 29 年度は社会福祉法が改正となった意義をよく考慮し、地域に開かれた法人運営を図る。

事業内容

- (1) 公印の保管及び公印捺印書類の保管（写）、理事長印の書類（写）の保管。
- (2) 当該関係機関との連絡とそれに関する調整。
- (3) 理事・評議員会議事録の保管。
- (4) 項式書類の保管及び管理。
- (5) 職員の教育に関する研修会の申し込み。
- (6) 頂き物に関する礼状の作成郵送。
- (7) 職員の勤務状況の把握。
- (8) 物品の発注及び納入品の検品。
- (9) 販売物の金銭管理。
- (10) 利用者の預かり金（お小遣い）管理、及び年金の管理と保護者への現金出納帳、元帳の作成及び報告。
- (11) 利用者のお小遣いの使途管理及び確認。
- (12) 小口現金の管理と報告。
- (13) 介護給付費の請求及び入金の確認等。
- (14) 物品納入業者及び工事請負の見積もり及び契約に関すること。
- (15) 予算、決算に関すること。
- (16) 予算案、決算案の作成。
- (17) 財産の管理に関すること。
- (18) 台帳の管理。
- (19) 寄付金の受け入れに関すること。
- (20) 職員の人事、給与に関すること。
- (21) 規程、規則、内規等の管理に関すること。
- (22) 職員の労務管理及び福利厚生、その他、保険契約に関すること。
- (23) 補助金請求に関すること。
- (24) 本人負担金請求事務に関すること。
- (25) その他会計事務に関すること。
- (26) 行政当局、所轄消防署、警察署、土木事務所との連絡及び調整に関する業務。
- (27) 各種文書の校正及び職員の文章校正。
- (28) 事業計画、事業報告、決算、予算の遂行、管理に関すること。
- (29) 職員の人事システムに関する人材養成、研修指示書、資料、記録の管理。

2. 施設管理係

作成者 中根慶太

運営総括

環境との調和に根ざした利用者様にとっての住みやすい環境作り・美観維持に努めた。

- (1) 日々の清掃の充実・定期清掃の充実
- (2) 不具合箇所・破損箇所の早期発見・補修整備
- (3) 施設整備の管理・備品・鍵等の管理徹底

事業内容

- (1) 清掃業務
 - ① 毎日清掃の職員分担化
 - ② 定期清掃の実施（美観維持の為、床のワックス清掃等）
- (2) 建物管理
 - ① 不具合報告書の職員提出の徹底
 - ② 破損箇所の補修（出来る所は自分で）
 - ③ 定期点検の年間計画作成（エレベータ・貯水槽・キュービクル等）
 - ④ しいのみ園本体の建物知識・設備知識向上に努める
- (3) 公用車管理
 - ① 鍵の管理
 - ② 車検証・自賠責保険・任意保険管理
 - ③ 車の整備管理（オイル交換・タイヤ交換等）
 - ④ 車検の管理（車検切れ等が無いように）
- (4) 新規事業立ち上げ時・増築・改修工事
 - ① 新規建物施行前・施工中・施工後の打ち合わせ・管理等
 - ② 新築・増築時、消防・市役所等との行政関連申請書類作成
- (5) 安全運転管理
 - ① 日々の安全運転管理に努める
 - ② 職員への安全運転意識向上の為の講習会の実施
 - ③ 新人職員への運転教育・管理

3. 医務係

作成者 吉江文子

運営総括

健康管理、保持増進及び、疾病の早期発見、予防に努めることについて、当しいのみ園においては10代～70代の利用者様、又、障害も多様である。その方の特性を把握（疼痛、気分不快等の訴えがない）自覚、他覚的な症状を観知して、早期受診を実施した

又継続的に受診が必要な利用者については受診もれ等がないようチェックし実施できた。全体的には、健康診断の結果等を参考にして、今後の健康状態に影響を及ぼす可能性があると考えられる利用者に対しては、専門医に受診をして確認している。

支援スタッフや家族からの情報を得て個別的な対応を実施した。

利用者の高齢化、長期に及ぶ内服薬等による心身に及ぶ影響（例えば、歯肉増殖、歯牙欠損、皮膚状態の悪化、臓器疾患、骨粗鬆症、ADLの低下等）が顕著になっている。今後もこれらを踏まえて、予測される障害、疾患を想定して対処していく方針である。

事業内容

（1）健康管理

- ① 障害、疾病に対して、バイタルチェック、自覚、他覚的な主訴、毎朝、職員の測定した、体温、血圧値、食欲、活気、排便等の状態を確認、受診が必要か判断。受診後は指示に従い、内服、処置等を行っている。
- ② 医務室で対処できるものは、敏速に施行して治癒に向ける。

（2）定期健康診断の実施

- ① 年2回実施：総合診断の結果を得て、かかりつけ医、又は、専門医に受診。
- ② 職員に対しては、異常者に対しては再受診を促している。医務室で再検査できるものは施行。

（3）歯科管理・腸内細菌検査

- ① ブラッシング・スケーリングが基本で実施。異常があれば治療開始となる。

（4）体重管理・血圧測定

- ① 1回／月の体重測定を施行して健康面のチェック：増減の幅がある方に対して栄養士・支援員と相談しカロリーの調整に向ける。
- ② 血圧測定実施：異常値に対して、かかりつけ医、嘱託医受診。

（5）薬管理

- ① 8割程の利用者様が内服中、又、かなり多剤の内服されており、状態により、途中変更も多い為、注意が必要となる。
- ② 今後もダブルチェックをして、配薬につとめる。配薬箱が数回入っていないことがあり、支援員より指摘を受ける。
- ③ 短期利用者の増加に伴い、内服管理が煩雑化しているので、確認を十分にしていく。

（6）看護日誌・看護記録物の整理

- ① 日誌はPC入力中：必ず、支援員に対して口頭でも伝達する。
- ② 記録物は5年間保存。

(7) 看護要約の作成

- ① 以前に記載した記録に対しては変化のある方は、修正、記録を新しくしている。
- ① 新しく入所された方についての要約の作成。
- ② ケアホームに転出された方への要約の作成→申し送っている。

(8) 保護者様との連携

- ① 医療的な面で、必要時連携をとっている。あくまでも、支援員を中心にしており、医療面で要望があればバックアップする。

4. 給食係

作成者 稲垣寿美子

運営総括

利用者の健康増進を図る栄養管理・栄養指導。利用者の健康状態と身体状態を把握し、食事形態・嗜好を考慮し、楽しい食事ができるよう心掛けた。

また、個人の活動面を考慮のうえ、生活習慣病の予防に努め、食堂や厨房内の衛生管理を徹底し、食中毒の未然防止に努めた。感染症時の食事対応で、拡大を未然に防ぐ対応に努めた。

季節を感じる行事食や手作りおやつを提供し、利用者の楽しみになる食事の提供を図った。

食育教育として毎月の給食便りを発行した。

事業内容

- (1) 各利用者の栄養管理
 - ① 個々の食事形態の把握
 - ② 疾患に対する栄養管理
 - ③ 給食委員会との連携
 - ④ 栄養所要量の算出
- (2) 嗜好調査の実施
 - ① 対象：利用者 年1回
- (3) 体重管理
 - ① 医務係・支援係と連携
 - ② 対象：利用者
 - ③ BMIの算出・アセスメント作成
- (4) 衛生管理
 - ① 食堂の衛生管理・指導
 - ② 厨房の衛生管理・指導
- (5) 日々の観察
 - ① 支援員と連携
 - ② 咀嚼・嚥下・試行・食事マナー等
 - ③ 嗜好変化
- (6) 書類管理
 - ① 献立一覧表・年間給食実施状況・残食量・栄養所要量・週間献立表
 - ② 食事箋・検食簿・体重表・栄養月報・食事相談記録報告書
- (7) 委託給食サービスとの連携
 - ① 食事箋の指示・献立に関する指示・衛生管理の指示
- (8) 特別食の管理
- (9) 食数の管理
- (10) 防災食の準備等への協力

II. 施設入所支援課

作成者 岩沼圭子

1. 障害者支援施設しいのみ園

運営総括

平成 28 年度においては利用者様一人一人の特性やニーズに合った支援を考え、実行していくことを中心に、職員が強度行動障害者研修を学び、実際に支援に生かしながら活動を行った。

併せて、福祉 QC 活動（業務改善活動）にも積極的に取組み、全国大会に 1 チーム（テーマ：記録を残そう）、関東甲信越大会に 2 チーム参加し（テーマ 1：利用者様の参加率を上げよう ・ テーマ 2：ミニトマトの計量を正確にする）、毎日の業務や支援に役立てることができている。

また、保護者の皆様とも連携しながら行事（いもほり大会・夏祭り・新年会等）を行い、保護者会において事業所紹介ツアーを実施するなど、保護者と職員が常に情報共有を行いながら互いに協力しあえる環境設定を行うことができたように思われる。

そして、昨年度に引き続き国際厚生事業団による EPA 看護・介護受け入れ事業を行い、28 年 12 月よりフィリピン人看護師 2 名が増え、現在 4 名が就労しながら資格取得を目指している。職員の育成も改めて内容を見直し、各種研修への参加や資格取得、昨年度に引き続き入社 2 年目まではメンター・メンティ制度を導入し、職員の質の向上を目指した。

今年度も昨年同様、ミュージックケアを取り入れ、利用者様の好きな音楽を生活の中に取り入れながら、利用者様の強みを生かした活動の提供や何より利用者様が楽しく元気に毎日を過ごせるよう職員一同支援を行っていきたい。

2. 実績報告

(1) 施設入所支援

- ・主に夜間帯における日常生活上の包括的な支援を提供。
- ・全居室、個室にて障害特性に応じた生活環境の提供。
- ・ADL 面における総合的支援の提供。

利用月	定員	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4 月	40 名	1122 名	30 日	93.50% (37.4 人)
5 月	40 名	1153 名	31 日	92.98% (37.19 人)
6 月	40 名	1152 名	30 日	96.0% (38.4 人)
7 月	40 名	1169 名	31 日	94.27% (37.71 人)
8 月	40 名	1107 名	31 日	89.27% (35.71 人)
9 月	40 名	1109 名	30 日	92.42% (36.97 人)

10月	40名	1182名	31日	95.32% (38.13人)
11月	40名	1124名	30日	93.67% (37.47人)
12月	40名	1128名	31日	90.97% (36.39人)
1月	40名	1092名	31日	88.06% (35.23人)
2月	40名	1046名	28日	93.39% (37.36人)
3月	40名	1159名	31日	93.47% (37.39人)

(2) 生活介護

- ・ 常時支援を要する障害者に対して、日常生活上の包括的な支援を提供。
- ・ ADL 面、LADL 面における総合的支援を提供し、施設内、施設外活動の実施。

利用月	定員	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4月	40名	974名	22日	110.68% (44.27人)
5月	40名	981名	23日	106.63% (42.65人)
6月	40名	912名	22日	103.64% (41.45人)
7月	40名	967名	23日	105.11% (42.04人)
8月	40名	906名	23日	98.48% (39.39人)
9月	40名	895名	22日	101.70% (40.69人)
10月	40名	958名	23日	104.13% (41.65人)
11月	40名	879名	22日	99.89% (39.95人)
12月	40名	911名	23日	99.02% (39.61人)
1月	40名	872名	23日	94.78% (37.91人)
2月	40名	787名	20日	98.38% (39.35人)
3月	40名	896名	23日	97.39% (38.96人)

(3) 短期入所

- ・ 在宅において生活が困難になった方へ短期間の受け入れ実施。
- ・ 介護者へのレスパイト支援の提供。
- ・ 必要に応じた日常生活支援の提供。

利用月	定員	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4月	18名	480名	30日	88.89% (16人)
5月	18名	487名	31日	87.28% (15.71人)
6月	18名	476名	30日	88.15% (15.87人)
7月	18名	513名	31日	91.94% (16.55人)
8月	18名	482名	31日	86.38% (15.55人)
9月	18名	484名	30日	89.63% (16.13人)
10月	18名	499名	31日	89.43% (16.1人)

11月	18名	478名	30日	88.52% (15.93人)
12月	18名	467名	31日	83.69% (15.06人)
1月	18名	420名	31日	75.27% (13.55人)
2月	18名	446名	28日	88.49% (15.93人)
3月	18名	495名	31日	88.71% (15.97人)

(4) 日中一時支援

- ・日中における介護や介護者の休息等の必要な方に対して、一時的な預かりの場を提供。
- ・必要に応じた日常生活支援の提供。

3. 家族会・地域との関係や情報について

年月日	行事名等	備考・参加者等
5/18	ゆうあいピック	職員5名・利用者11名
5/29	バーベキュー大会・保護者会総会	職員35名・利用者78名・保護者63名
6/4	たかね園バザー	職員3名・利用者1名
6/27	じゃがいも収穫祭	職員12名・利用者9名・保護者6名
7/30	中野学園バザー	職員2名・利用者1名
8/7	夏祭り	職員55名・利用者74名・保護者47名
8/28	花火大会	職員7名・利用者27名
8/28	千葉市 ソフトボール大会	職員3名・利用者10名
9/1-2	室内活動班一泊旅行	職員9名・利用者14名・保護者6名
9/16-17	千葉県 ソフトボール大会	職員4名・利用者12名
10/13-14	園芸班・林産班一泊旅行	職員7名・利用者12名・保護者8名
10/21	いもほり大会	職員9名・利用者13名・ 地域2名・保護者6名
11/6	ふるさと祭り	職員18名・利用者33名
12/9	クリスマス会	職員9名・利用者18名
12/24	もちつき大会	職員33名・利用者74名
1/8	新年会・成人式	職員46名・利用者71名・保護者45名
2/10	ボーリング大会	職員6名・利用者12名
2/10	ゆうあいびっく駅伝・マラソン	職員7名・利用者11名
3/17	利用者納会	職員23名・利用者47名

4. 実習・視察・ボランティア受け入れ

実習受け入れ状況

年月日	学校等	実習内容
9/5-9/16	植草学園短期大学 (2名)	福祉施設実習
1/20-2/14	京葉介護福祉専門学校 (2名)	福祉施設実習
1/23-2/4	明德短期大学 (1名)	福祉施設実習
2/14-2/16	植草学園大学 (1名)	福祉施設実習
2/27-3/9	千葉経済短期大学 (2名)	福祉施設実習
3/6-3/19	帝京平成大学 (1名)	福祉施設実習
3/20-3/31	千葉経済短期大学 (2名)	福祉施設実習

5. 苦情について

年月日	苦情申出者	苦情の種類	原因	内容	対応
H29 1/26	匿名	メール	2	1月25日の夕方5時半頃、スーパーで障害者駐車場を利用しようと思ったところ、障害者の方が乗車していなかったにも関わらず、しいのみ園の車が停まっていた。	全職員に情報共有し、公用車の使い方やマナーに関して再度見直しを行った。

※発生原因・・・1、説明不足 2、職員の態度・言動 3、サービス内容 4、その他

Ⅲ 相談支援課 相談支援センターしいのみ

1. 特定相談支援事業・障害児相談支援事業

作成者 角田多香子

運営総括

障害を持った方々が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、各関係機関と連携を図りながら、総合的なサービス提供を行った。

また、相談支援専門員に対する研修や講習会等へ積極的に参加し、相談支援技術の向上や質の確保、他事業者所等とのネットワークづくりに重点を置き対応した。

事業内容

(1) 計画相談支援

① 支給決定時

利用者（児）およびその保護者（成年後見人等）に面接し、心身の状況や環境、サービス利用に関する意向等を伺い、利用計画案を作成・提出した。

また、各事業責任者（担当者）と受入れ調整会議をもち、受入れ日や支援計画の調整を行った。

② 支給決定後

利用者（児）およびその保護者（成年後見人等）とサービス提供事業者と面接・連絡調整を行い、必要に応じ支援計画の見直しを行った。

③ サービス提供に関する状況確認

利用者（児）がサービス利用計画および個別支援計画にそった支援が提供されているか記録等を閲覧し、必要に応じて各事業所と連絡をとり、相談支援専門員の立場から支援方法等への助言・サポートを行った。

(2) 基本相談支援

① 基本相談

障害を有している全ての方および家族、事業所等の相談援助を行った。必要に応じ利用者（児）およびその保護者（成年後見人等）からのニーズの聞き取りを行い、関係機関との連携を図るとともに、ケースによっては各事業所や担当行政とサービス利用についての調整会議等を開催した。

② 希望相談

しいのみ園グループが展開している各事業を案内し、グループで運営している事業所の広報も兼ね積極的に受入れを行った。

③ 各機関相談

担当行政・特別支援学校等の支援担当者と連携を図り、学校指定実習など積極的に受入れを行った。

その他

- (1) 相談支援専門員としての質の向上・確保を図るため、各種研修等に積極的に参加し、障害者施策への迅速な対応に努めた。
- (2) 相談支援専門員と他事業所のサービス管理責任者を兼ねている場合、サービス利用計画書作成者とモニタリング実施者を別に配置するなど、中立性・公平性の確保に努めた。

2. 一般相談支援事業

作成者 角田多香子

運営総括

障害を持った方々が地域社会と繋がりながら安心して暮らせるよう、各関係機関と連携を図りながら、総合的なサービス提供を行った。

また、相談支援専門員に対する研修や講習会等へ積極的に参加し、相談支援技術の向上や質の確保、他事業所等とのネットワークづくりに重点を置き対応した。

事業内容

(1) 地域相談支援

① 地域移行支援

地域移行に向け、利用者の意向・適性・障害の特性・その他事情を踏まえた利用計画案を作成・提出した。

利用者およびその保護者（成年後見人等）に対し、地域の社会資源や公的機関の紹介、外出の際の同行や障害福祉サービスの体験的な利用支援・宿泊支援の調整を行った。また、関係機関と調整し、ケース検討会議をもち支援計画の調整を行った。

② 地域定着支援

利用者およびその保護者（成年後見人等）と常時連絡が取れる体制を確保した。緊急に支援が必要な事態が生じた場合にも速やかに対応し、バックアップ体制を整えた。

(2) 基本相談支援

① 基本相談

障害を有している全ての方および家族、事業所等の相談援助を行った。必要に応じ利用者およびその保護者（成年後見人等）からのニーズの聞き取りを行い、関係機関との連携を図るとともに、ケースによっては各事業所や担当行政とサービス利用についての調整会議等を開催した。

② 希望相談

しいのみ園グループが展開している各事業を案内し、グループで運営している事業所の広報も兼ね積極的に受入れを行った。

その他

(1) 相談支援専門員としての質の向上・確保を図るため、各種研修等に積極的に参加し、障害者施策への迅速な対応を行った。

(2) 地域移行にあたり、担当行政や自立支援協議会等と連絡調整を図り、積極的な意見交換等ネットワークづくりに努めた。

3. 千葉市障害児等療育支援事業

作成者 角田多香子

運営総括

千葉市に住む在宅障害児のライフステージに応じた地域での生活を支援するため、障害児者施設・事業所の有する機能を活用し、療育・相談体制を整えた。

また、様々な福祉サービスが選択できるよう、情報提供・援助・調整等を行い、地域の在宅障害児者及びその家族の福祉の向上を図った。

事業内容

(1) 訪問療育相談事業

相談者の家庭を訪問し相談を行うが、取り扱ったケースはなかった。

(2) 訪問健康診査等事業

相談者の家庭を訪問し健康診査を行うが、取り扱ったケースはなかった。

(3) 外来療育相談事業

当園への来園により相談を行うが、取り扱ったケースはなかった。

(4) 施設支援一般指導事業

他事業所より相談を受けサービス利用に関する情報提供や相談援助を行うが、取り扱ったケースはなかった。

その他

(1) 各区のケースワーカー、各特別支援学校の支援担当と連絡をとる体制を整えた。

(2) 必要に応じ、利用者、保護者からのニーズの聞き取りを行い、関係機関と連携を図る体制を整えた。

(3) 利用者、保護者に対して、社会資源に関する情報提供や福祉サービス利用に関する手続きの援助を行う体制を整えた。

(4) 利用者が個別支援計画に則った支援が行われているか記録等を閲覧し、必要に応じて各事業所と連絡をとる体制を整えた。

1. 相談受付件数

	入所	短期入所	日中一時	児童放課後等デイ	生活介護	共同生活	就労支援	相談支援	総数
総合計	31	64	1	40	37	68	6	180	427

2. 相談者概要

①性別

<新規>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
男性	4	4	5	2	1	5	8	3	3	5	3	1	44
女性	3	3	1		2	3	1	1			1	2	17
総合計	7	7	6	6	3	8	9	4	3	5	4	3	61

<継続>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
男性	33	17	28	19	27	16	21	12	12	13	8	13	219
女性	13	8	21	20	15	15	21	10	7	5	8	4	147
総合計	46	25	49	39	42	31	42	22	19	18	16	17	366

②年齢

<新規>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
～12	3	4			1		4	3	1	2			18
13～18	2	1	1	1			1		1		2	1	10
19～	2	2	5	1	2	8	4	1	1	3	2	2	33

<継続>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
～12	2	1	7	7			1	3	2				23
13～18	13	3	6	11	8	6	22	13	9	3	2	11	107
19～	31	21	36	21	34	25	19	6	8	15	14	6	236

◎居住

<新規>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
緑区	1	4	1	1	1	2	4	3		3	1		21
若葉区	1	1											2
中央区	1									1			2
千葉市 (花・ 美・稲)	2		2	1									5
市原市													
その他 (県内)	1	1	2		1		1			1	3	2	12
その他 (県外)	1	1	1		1	6	4	1	3			1	19
総合計	7	7	6	2	3	8	9	4	3	5	4	3	61

<継続>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
緑区	11	6	13	12	2	8	10	7	5	5	4	3	86
若葉区	4	4	5	5	5	3	3	1	3	3	2	1	39
中央区	10	3	13	11	12	6	12	9	6	1	2	10	95
千葉市 (花・ 美・稲)					1	2							3
市原市	4	1									2		7
その他 (県内)	6	3	3	1	11	3	3	1		2	2	1	36
その他 (県外)	11	8	15	10	11	9	14	4	5	7	4	2	100
総合計	46	25	49	39	42	31	42	22	19	18	16	17	366

④療育手帳区分

<新規>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
B		1	3			2	1				1		8
A	2			1	1	5	2		1		2		14
(A)	2	4		1	1	1		1			1	3	14
不明	3	2	3		1		6	3	2	5			25

<継続>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
B	8	5	13	12	12	8	16	7	9	3	3	3	99
A	14	6	15	13	15	10	12	8	5	8	5	4	115
(A)	24	14	21	14	15	13	12	6	5	7	8	10	149
不明							2	1					3

⑤障害支援区分

<新規>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
1・2													
3・4	1		1		1	2	1			1	1		8
5・6	1	2	1	1	1	6	4	1	2		3	2	24
非該当	5	5	1	1	1		4	3	1	2		1	24
不明			3							2			5

<継続>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
1・2										1			1
3・4	14	8	13	11	9	13	16	5	4	2	5	4	104
5・6	17	13	22	18	24	11	14	2	5	13	11	12	162
非該当	15	4	14	10	9	7	12	15	10	2		1	99
不明													

IV. 地域生活支援課

1. 共同生活援助事業所しいのみ園ほんだ

作成者 高見 正

運営総括

平成 28 年度においては、新規に 1 ホーム（さくら寮）がオープンしました。全 5 ホームで運営を行ってまいりました。地域と共に生きるを念頭に、さくら寮においては、周辺の藤沢団地の地域清掃や年に 1 回の藤沢団地の祭りに参加することで地域との繋がりに強化していきました。

業務内容においては、5 ホームの業務の標準化を目指していきました。具体的にはマニュアルの整備です。職員からの要望を吸い上げ、世話人とのコミュニケーションを大切にしていきました。

利用者支援においては、原点に戻り利用者様の声を聞き、利用者様に寄りそう支援をしていきました。週末における余暇外出に関しては、今後更なる充実が必要であると考えております。

事業内容

- (1) 家事等の日常生活上の支援
- (2) 健康管理、金銭管理の支援
- (3) 日常生活における相談支援
- (4) 緊急時の対応
- (5) 日中活動に関わる他事業所等の関係機関との連絡調整
- (6) 休日における余暇活動の支援
- (7) その他必要な支援等

支援内容

- (1) 地域の中で、自己実現・自己決定を尊重し一人ひとりの生活スタイルに合わせ豊かな暮らしが送れるように支援を行いました。
利用者の個々の可能性、自主性を重んじ、当事者からの聞き取り及び日々の生活の記録、他事業者との情報の共有でその人らしい生活により近づくため当事者のニーズの汲み取りに努めました。（個別支援計画）
- (2) 毎日の健康管理チェック表を活用し、日々の健康管理に努めました。観察を中心として利用者様の変化を汲み取り職員間・医療機関と連携を行いました。
- (3) 利用者様個々の課題を利用者様と個別相談を行いました。又、必要に応じ、保護者様と情報を共有し、相談しながら利用者様本人にとってより良い生活へ向けての支援を致しました。
- (4) 職員間・医療機関との連絡調整を蜜に行うことで緊急時の対応を強化しました。
- (5) 法人内外の事業所と連絡調整をすることで利用者様の情報を共有し、支援の統一に努めました。
- (6) 休日においては、入所施設と協力しボランティア行事に参加したりと余暇の提供に努めました。
- (7) 地域行事への参加としては、地域清掃・町内会お祭り、神輿・緑区のお祭りと

積極的に行事への参加を行っていきました。

その他

月別利用実績

利用月	あゆみ寮 4名/6名	のぞみ寮 6名/6名	ひかり寮 5名/6名	つばさ寮 6名/7名	さくら寮 3名/5名
4月	97.22%	100%	76.11%	100%	※7月より
5月	93.01%	100%	77.42%	94.4%	
6月	98.33%	100%	80.56%	100%	
7月	96.77%	100%	77.96%	71.43%	40.0%
8月	63.44%	100%	80.65%	68.20%	80.0%
9月	65.56%	100%	78.89%	72.86%	80.0%
10月	63.98%	100%	77.42%	75.12%	60.0%
11月	63.33%	100%	80.00%	75.71%	59.35%
12月	61.29%	97.85%	77.96%	80.18%	60.00%
1月	59.14%	98.39%	75.27%	82.03%	60.00%
2月	63.69%	100%	78.57%	85.71%	60.00%
3月	65.05%	100%	78.49%	85.71%	60.00%
合計	74.23%	99.69%	78.28%	82.61%	62.15%

2. 多機能型事業所しいのみ園 ころ

作成者 岩本正彦

運営総括

生活介護と就労支援継続支援 B 型事業のサービスを提供する多機能型事業所として運営を行っている。誉田駅前の立地を生かし、地域に根差した事業所を目標に日々の日中活動に取り組んでいる。

生活介護部門においては、利用者様の主体的な活動参加を目指し利用者のニーズに応じたカリキュラムにより活動を提供している。

就労部門においては、仕事を通して地域貢献や目標を達成する喜び、やりがいを持って頂ける様、リネン班、農耕班、喫茶班、製菓班の 4 部門で事業展開を行っている。

<生活介護部門>

事業内容

- (1) 創作活動・軽作業
絵画、季節の装飾作り、切り絵、手工芸、コースター作り、学習プリント、水習字
おやつ作り
- (2) 健康維持活動
ラジオ体操、室内ウォーキング、公園散策、室内ストレッチ、ミュージックケア
- (3) 地域奉仕活動
近隣の駅、道路、公園の清掃活動
- (4) 余暇活動
カラオケ、レク運動、グループ外出、ミュージックケア、事業所内行事
- (5) 送迎サービス
自宅からしいのみ園ころまでの送迎を実施
- (6) ボランティアの受け入れ
ハーモニカボランティアグループによる演奏・合唱を月に一度実施
不定期でボランティアによるギターアンサンブルの演奏鑑賞を実施
隔月で訪問理容を実施

活動報告

- (1) おやつ作りにおいて、事業所の利用者を対象におやつ作りを行った。利用者の積極的な取り組みが定着しつつある。おやつの内容や味については毎回好評である。
- (2) 公園散策や地域清掃、グループホームの花壇整備においては、健康維持、社会貢献に努めた。清掃中、地域住民との挨拶を交わし、交流を深める事が出来ている。
- (3) グループ外出においては、保護者の協力を得て様々な場所にて実施する事が出来ている。例) マザー牧場、芝桜鑑賞、こどもの国、花の美術館、野球観戦 他
- (4) お花見やボーリング大会、日帰り旅行、納会等の行事を定期的実施している。

その他

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4月	20名	25名	387名	21日	92.1%
5月	20名	24名	415名	23日	90.2%
6月	20名	24名	427名	22日	97.1%
7月	20名	24名	409名	23日	88.9%
8月	20名	24名	423名	23日	92.0%
9月	20名	24名	410名	22日	93.2%
10月	20名	24名	402名	23日	87.4%
11月	20名	24名	430名	22日	97.7%
12月	20名	24名	425名	23日	92.4%
1月	20名	24名	338名	20日	73.5%
2月	20名	24名	399名	20日	99.8%
3月	20名	24名	459名	23日	99.8%
合計			4924名	265日	92.9%※2

※1・・・定員20名に対する稼働率、少数点第2位以下切り捨て

※2・・・年間平均稼働率

<就労継続支援B型部門>

事業内容

- (1) クリーニング部門
衣類等のクリーニング及び搬入作業
- (2) 農耕部門
野菜栽培・店舗納品
- (3) 喫茶部門
福祉ショップ「ふくろう屋」の営業
- (4) 製菓部門
製菓作成・受注

活動報告

1. クリーニング部門

しいのみ園契約利用者の衣類等の洗濯物を個人別に仕分け、たたみ作業と居室への配送を行っている。ルーティンワークとして確立しており、高齢の方、ルーティンワークに適性のある利用者を対象に安定的な作業プログラムとして提供できている。また、アイロンかけや衣類補修の他、製菓部門で作ったおやつのお分けなども請け負っている。

2. 農耕部門

近隣のハウス、畑を借りて精力的に野菜栽培に取り組んでいる。約40種類の野菜を育て

年間を通して安定した収穫量を確保している。また販売先として、主に福祉ショップ「ふくろう屋」と「はーとふるメッセ千葉寺店」、「なりたや誉田店」に納品し、無農薬・減農薬野菜として好評を博している。夏季は路地栽培、冬季はハウス栽培を中心に行っている。

3. 喫茶部門

誉田駅徒歩5分の立地に福祉ショップとして、月・水・金の10:30～15:30まで営業している。喫茶以外に農耕部門の育てた野菜や関連事業所が作成した陶芸やビーズ製品、花などを販売している。地域に根差し、憩いの場としての空間を目指している。近隣の方のリピーターも多く、安定した売り上げが得られるようになってきている。また、冬季には「紅はるか」という品種を使った焼き芋が好評を博しており、名物となっている。

4. 製菓部門

27年度より立ち上げた新規事業。28年度は月～金まで、しいのみ園グループ全利用者のおやつ約100食を安定的に提供することができた。商品化も視野に入れ、精力的に取り組んでいる。

5. 工賃支給額

売り上げ総額は横ばいであり、変わらず時給200円（日給1,000円）を支給した。月額平均18,000円程度を支給できている。

その他

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4月	10名	9名	189名	21日	90.00%
5月	10名	9名	193名	23日	83.91%
6月	10名	9名	198名	22日	90%
7月	10名	9名	187名	23日	81.30%
8月	10名	9名	204名	23日	88.70%
9月	10名	9名	197名	22日	89.55%
10月	10名	9名	187名	23日	81.30%
11月	10名	9名	179名	22日	81.36%
12月	10名	9名	167名	23日	72.61%
1月	10名	9名	131名	20日	56.96%
2月	10名	9名	160名	20日	80%
3月	10名	9名	181名	23日	78.7%
合計			2173名	265日	82.0%※2

※1・・・定員10名に対しての稼働率、少数点第2位以下切り捨て

※2・・・年間平均稼働率

3. 生活介護事業所しいのみ園こころの都

作成者 姜兌珉

運営総括

地域に住む重度・最重度の利用者を対象とし、理解しやすい活動内容とすることで、意欲的に活動へ参加出来るよう支援している。主に余暇的な活動を通して健康維持や体力向上を目指し、その上で充実感を感じることが出来る活動を提供している。また、個々のニーズを汲み取り、活動内容に取り入れていくことで、利用者主体の活動となるようサポートしている。

地域社会の一員という自覚を持ち、地域の社会資源との関わりを持って積極的な社会参加を目指している。また、地域の社会資源として、地域に根差した事業所運営を行っている。

事業内容

- | | |
|-----------|--|
| (1) 場 所 | 千葉市中央区都町1 1 5 7 番地 1 |
| (2) 営 業 日 | 月曜日～金曜日（祭日も含む）
1 2 月 3 0 日～1 月 3 日 は 休 業 |
| (3) 営業時間 | 8 : 3 0 ~ 1 7 : 3 0 |
| サービス提供時間 | 9 : 3 0 ~ 1 5 : 3 0 |
| (4) 送 迎 | 自宅まで送迎サービスを行う。
(朝) 迎え出発 8 : 0 0 ~ 8 : 3 0
(夕) 送り出発 1 5 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0 |
| (5) 対象利用者 | 千葉市内（一部市原市含む）在住で18歳以上の知的障害者の方で、障害程度区分が3以上の方（50歳以上は障害程度区分が2以上の方） |
| (6) 定 員 | 20名 |
| (7) 勤務体制 | 日勤1 8 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0（休憩1時間）
日勤2 8 : 3 0 ~ 1 7 : 3 0（休憩1時間） |

支援内容

- (1) リフレッシュ活動：健康を維持し、更に気分転換を図る事業所外活動
利用者様の健康面の維持を目指して公園内の散策を行い、散策を通して気持ちの切り替えや午後の活動への意欲を持つことが出来ている。
- (2) リラックス活動：個人の能力に応じた個別活動及び情緒面の安定を図る活動
 - ① ミュージックケア
個人の好みに合わせた音楽を提供する事で情調綿の安定、また本人の能力や興味に合わせて楽器等の道具を利用して体を動かす事で楽しみのある活動を提供している。
 - ② 洗濯物たたみ、仕分け
「仕事をする」意識付けと共に「出来る」ことを増やして行く事を目標で洗濯物干し、たたみ、仕分けを行っている。「自分の仕事」であることの意識を持って行うことが出来ている。

③ 音楽鑑賞、映画鑑賞

情調面の安定を目標に本人の好みの音楽を提供している。音楽鑑賞、映画鑑賞を行う事で自傷の軽減や楽しい毎日を過ごす事が出来ている。

④ 外出支援

外出支援を行うことで情調面の安定を目標にした上、それに満足せず地域の一人として地域社会に参加への訓練を支援している。

⑤ おやつ作り

個人の能力に合わせておやつ作りの工程を分け、皆様と力を合わせておやつを作り、またその過程を利用者様に見せる事で楽しみあるおやつ作りを提供している。

(3) リサイクル活動

① 空き缶潰し

仕事として空き缶潰しを行い、空き缶をリサイクルセンターに販売している。毎月の売上は約 5000 円前後で3 ヶ月一度、お弁当等での還元を行っている。まだ仕事である意識は薄く、利用者様が行った空き缶潰しでお弁当等を購入する意識も薄いですが常に声掛けを行い、仕事である事を意識付ける様に支援している。

② ゴミ回収 (しいのみ園グループ全事業所)

活動報告

(1) 実績報告

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率※1
4月	20名	20名	281名	22日	63.9%
5月	20名	20名	372名	21日	88.6%
6月	20名	20名	374名	22日	85.0%
7月	20名	19名	340名	23日	73.9%
8月	20名	19名	349名	21日	83.1%
9月	20名	19名	366名	22日	83.2%
10月	20名	19名	341名	22日	77.5%
11月	20名	19名	369名	21日	87.9%
12月	20名	18名	341名	21日	81.2%
1月	20名	18名	198名	20日	49.5%
2月	20名	18名	330名	21日	78.6%
3月	20名	18名	376名	23日	81.7%
合計			4037名	259日	77.8%

※1・・・定員20名に対しての稼働率、少数点第2位以下切り捨て

4. 放課後等デイサービス事業所

しいのみ園ともみやこ

作成者 中根 慶太

運営総括

放課後等デイサービスに関する業務を行い、関係機関や保護者と連携し、利用者様の人権尊重、充実した支援を第一に考え受入れを行っている。個別支援計画に基づき、全職員が統一した支援を行っている。

事業内容

- | | |
|--------------|---|
| (1) 場 所 | 千葉市中央区都町 1157-1 |
| (2) 営 業 日 | 月曜日～土曜日（祝日含む） |
| 休 業 日 | 日曜日 |
| 夏季休業 | 8月13日～8月15日 |
| 冬季休業 | 12月30日～1月 3日 |
| (3) 営業時間 | 平日（登校日） 10：00～19：00
土曜日、祝日及び休校日 8：30～19：00 |
| (4) サービス提供時間 | 平日（登校日） 15：00～17：30
土曜日、祝日及び休校日 10：00～17：30 |
| (5) 送 迎 | 自宅及び学校まで送迎サービスを実施します。
平日（登校日）
(昼) 迎え出発 13：30～15：00
(夕) 送り出発 17：30
土曜日、祝日及び休校日
(朝) 迎え出発 8：30～9：00
(夕) 送り出発 17：30 |
| (6) 対象利用者様 | 千葉市内に住む知的障害児 |
| (7) 定 員 | 1日あたり10名 |
| (8) 勤務体制 | 日勤1 8：30～17：30（休憩1時間）
日勤2 10：00～19：00（休憩1時間） |

活動内容

- (1) 日常生活訓練（手洗い、更衣、排泄、食事等）
- (2) 集団生活適応訓練（挨拶、会話、団体活動等）
- (3) 余暇的活動（壁面作り、DVD鑑賞、公園外出、散策、プール遊び等）
- (4) 音楽療法（ミュージックケア）

業務内容

- (1) 個別支援計画、モニタリングの作成
 - ① 保護者や本人からのニーズを聞き取り、個別支援計画書の作成を行う。
 - ② 半期に一度モニタリングを行い、目標に対する達成具合や目標設定の妥当性、支援内容が適当であったかを検証する。
- (2) 受入れ調整
 - ① 新規利用者の契約、受入れ準備を行う。
 - ② 受入れ人数の把握、調整を行う。
- (3) 送迎サービス
 - ① 安全運転を常に意識し、自宅又は学校までの送迎を行う。
- (4) 関係機関との連絡調整
 - ① 主に学校とのタイアップを強化する。
- (5) 請求業務（利用者上限管理を含む）
 - ① 事務職員、他事業所との連携を図り、正確な請求を行う。

実績報告

(1) 利用者状況（稼働率）

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4月	10名/日	21名	203名	26日	78.08%
5月	10名/日	21名	198名	26日	76.15%
6月	10名/日	21名	199名	26日	76.54%
7月	10名/日	21名	182名	26日	70.00%
8月	10名/日	21名	170名	25日	68.00%
9月	10名/日	20名	182名	26日	70.00%
10月	10名/日	20名	184名	26日	70.77%
11月	10名/日	20名	182名	26日	70.00%
12月	10名/日	20名	182名	25日	72.80%
1月	10名/日	20名	176名	24日	73.33%
2月	10名/日	20名	160名	24日	66.67%
3月	10名/日	20名	169名	27日	62.59%
合計			2187名	307日	71.24%

※小数点第2位以下切り捨て

(2) 利用者状況（年齢／性別）

	低学年	高学年	中学生	高校生	総計人数
男性			8	12	20
女性				1	1
総数			8	13	21

(3) 苦情について

年月日	苦情申出者	苦情の種類	原因	内容	対応
H29 3/1	近隣住民	口頭	4	A様が当園駐車場内を泣きながら走っている。近隣住民が自宅庭に出てきてA様を目で追いながら「うるさい」と繰り返し言っている。	千葉市役所に報告を行っている。
	近隣住民	電話 メール	4	当園駐車場内で利用者様の走る音や利用者様の声、クラクションの音がうるさいく、駐車場で車の排気ガスが気になると苦情がある。	千葉市役所に報告を行っている。 駐車場内ではエンジンを速やかに切る。

※発生原因・・・1、説明不足 2、職員の態度・言動 3、サービス内容 4、その他

(4) 研修関係

年月日	研修名	主催	場所	参加者
7/11, 12	社会福祉法人主任/係長講座	全国社会福祉法人経営者協議会	T F Tビル	荒田
7/14, 15	全国職員研修会	全国児童発達支援協議会	アルカス佐世保	中根 長谷川
10/6, 7	全国重症心身障害日中活動支援協議会	全国重症心身障害日中活動支援協議会	ホテルグリーン タワー幕張	中根 荒田
11/9, 10	地域支援セミナー	日本知的障害福祉協会 地域支援部会	新横浜国際 ホテル	茅原
11/18, 19	全国生産活動・就労支援部会職員研修会福岡大会	福岡県知的障害者福祉協会	アクロス福岡	荒田
12/13	千葉県障害者虐待防止・権利擁護専門研修	千葉県社会福祉協議会	千葉県社会福祉 センター	長谷川 茅原
3/4	強度高度障害のある方の支援者に対する研修実践報告会	千葉県発達障害者支援センター C A S	千葉県教育会館 大ホール	中根

(5) 事故報告・ヒヤリハット

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ヒヤリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
事故	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0

【内容】 A様のはさみで自身の髪を切ってしまった。

【対策】 はさみやカッターなどは事務所で保管する。

【内容】 B様が公園に停車中の軽自動車に乗車してしまった。

【対策】 衝動的な行動が多い為、保護者に了承を得て外出を中止している。

【内容】 C様が送迎中に飛び出してしまった。

【対策】 C様の送迎は2名体制で行う。

【内容】 A様の水泳帽がB様の鞆に入ってしまった。

【対策】 個別のケースを用意し、着替えを事務所保管にする。

【内容】 A様の制服がB様の鞆に入ってしまった。

【対策】 着替えのスペースを広くし、個々の着替えが混ざらないようにする。

【内容】 公用車にはさみが落ちていた。

【対策】 はさみ等のケースに写真を貼り、使用都度に全て揃っているか確認する。

運営総括

放課後等デイサービスに関する業務を行い、関係機関や保護者と連携し、利用者様の人権尊重、充実した支援を第一に考え受入れを行っている。個別支援計画に基づき、全職員が統一した支援を行っている。

事業内容

- | | |
|--------------|---|
| (1) 場 所 | 千葉県緑区高田町 1953 番地 1 |
| (2) 営 業 日 | 月曜日～土曜日（祝日含む） |
| 休 業 日 | 日曜日 |
| 夏季休業 | 8月13日～8月15日 |
| 冬季休業 | 12月30日～1月 3日 |
| (3) 営業時間 | 平日（登校日） 10：00～19：00
土曜日、祝日及び休校日 8：30～19：00 |
| (4) サービス提供時間 | 平日（登校日） 15：00～17：30
土曜日、祝日及び休校日 10：00～17：30 |
| (5) 送 迎 | 自宅及び学校まで送迎サービスを実施します。
平日（登校日）
(昼) 迎え出発 13：30～14：30
(夕) 送り出発 17：30
土曜日、祝日及び休校日
(朝) 迎え出発 8：30～9：00
(夕) 送り出発 17：30 |
| (6) 対象利用者様 | 千葉市内に住む知的障害児 |
| (7) 定 員 | 1日あたり10名 |
| (8) 勤務体制 | 日勤1 8：30～17：30（休憩1時間）
日勤2 10：00～19：00（休憩1時間） |

活動内容

- (1) 日常生活訓練（手洗い、更衣、排泄、食事等）
- (2) 集団生活適応訓練（挨拶、会話、団体活動等）
- (3) 余暇的活動（壁面作り、DVD鑑賞、遠足外出、散策、プール遊び等）
- (4) 音楽療法（ミュージックケア）

業務内容

- (1) 個別支援計画、モニタリングの作成
 - ① 保護者や本人からのニーズを聞き取り、個別支援計画書の作成を行う。
 - ② 半期に一度モニタリングを行い、目標に対する達成具合や目標設定の妥当性、支援内容

が適当であったかを検証する。

(2) 受入れ調整

- ① 新規利用者の契約、受入れ準備を行う。
- ② 受入れ人数の把握、調整を行う。

(3) 送迎サービス

- ① 安全運転を常に意識し、自宅又は学校までの送迎を行う。
- ② 関係機関との連絡調整
- ③ 主に学校とのタイアップを強化する。

(4) 請求業務（利用者上限管理を含む）

- ① 事務職員、他事業所との連携を図り、正確な請求を行う。

実績報告

(1) 利用者状況（稼働率）

利用月	定員	契約者数	利用延べ人数	営業日数	稼働率
4月	10名/日	19名	179名	26日	68.85%
5月	10名/日	19名	180名	26日	69.23%
6月	10名/日	19名	182名	26日	70.00%
7月	10名/日	21名	179名	26日	68.85%
8月	10名/日	21名	183名	25日	73.20%
9月	10名/日	21名	196名	26日	75.38%
10月	10名/日	21名	177名	26日	68.08%
11月	10名/日	21名	165名	26日	63.46%
12月	10名/日	21名	187名	25日	74.80%
1月	10名/日	21名	176名	24日	73.33%
2月	10名/日	21名	175名	24日	72.92%
3月	10名/日	21名	198名	27日	73.33%
合計			2177名	307日	70.91%

※小数点第2位以下切り捨て

(2) 利用者状況（年齢／性別）

	低学年	高学年	中学生	高校生	総計人数
男性	1	1	2	3	7
女性	3	0	5	1	9
総数	4	1	7	4	16

(3) 苦情について

特になし。

(4) 研修関係

年月日	研修名	主催	場所	参加者
7/14, 15	全国職員研修会	全国児童発達支援協議会	アルカス佐世保	中根 尹、吉野
8/29	権利擁護研修	千葉県社会福祉協議会	千葉県社会福祉センター	尹
10/6, 7	全国重症心身障害日中活動支援協議会	全国重症心身障害日中活動支援協議会	ホテルグリーンタワー幕張	中根 尹
11/21, 22	福祉QC全国発表大会	日本福祉施設士会	新霞が関ビル	尹
12/1	成年後見制度研修会	千葉県後見支援センター	千葉県教育会館	中根
12/13	千葉県障害者虐待防止・権利擁護専門研修	千葉県社会福祉協議会	千葉県社会福祉センター	吉野
2/15	幹部候補者養成研修	アガペの里	千葉市美浜保健福祉センター	尹
24、25	全国施設管理者等研修会	全国児童発達支援協議会	はまぎんホール	尹
3/4	強度行動障害のある方の支援者に対する研修(実践報告会)	千葉県発達障害者支援センターCAS	千葉県教育会館大ホール	中根、尹

(5) 事故報告・ヒヤリハット

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ヒヤリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事故	0	2	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0

【内容】買い物後にお釣りを取り忘れる。

【対策】直接、店に連絡してお釣りを回収している。

【内容】帰りの送迎の際、A様が他利用者の靴を入れて帰る。

【対策】後日、他利用者の靴を返却し、靴を履き替える場所や仕組みを変更している。

【内容】帰りの送迎の際、A様にB様の荷物を渡している。

【対策】個人の荷物に帰りの送迎の際、名札を付けるようにする。

【内容】公園に出かけた際、C様が道路に飛び出してしまう。

【対策】道路に面した公園への外出は控える。また、マンツーマンで対応が必要な利用者様は事前に把握職員を決める。

【内容】 D様の荷物を渡し忘れてしまう。

【対策】 衣類交換の際には必ず、職員を1人配置して衣類交換後に忘れ物が無いかを確認する。
また、荷物のチェック表を作成し、帰宅準備をする際に確認を行う。

5. 福祉のまちづくり支援室

作成者 福谷 章子

運営総括

社会福祉法人制度改革により、制度のはざまで取り残されている人たちへの支援の場を提供することを目的に平成28年2月にモデル開設し、4月から本格的な運営を始めた。

1階に、地域の方々の交流休憩スペースと就労作品の販売場所としてふくろうカフェを、2階に日常生活で困難を感じている方々への様々な相談や支援の場としてふくろう広場を設置した。ふくろうカフェは1年間で延べ1,300人ほどの方々の利用があり、高齢者の方々を中心に傾聴をかさねた。地域にも少しずつ浸透し、誉田小学校の子どもたちの訪問も受けた。

ふくろう広場は、発達が心配な子どもを持つ保護者の方々の話し合いの場として「はぴママお茶会」を定期的で開催して保護者の声を拾い、言の葉の会で内部勉強会を重ね、次のステップとして環境への適応やコミュニケーションに課題のある子どもたちの居場所が求められていることを把握した。

陶芸教室と手芸教室も定期的で開催し、特に陶芸教室は長期休業期間に子ども対象の講座も開催し、好評であった。

事業内容

- | | |
|--------------|---|
| (1) 場 所 | 千葉市緑区誉田町2-7-12 茂木ビル1～2階 |
| (2) 営業日 | ふくろうカフェ 月曜日～金曜日
ふくろう広場 月曜日～金曜日 |
| 休業日 | 土曜日 日曜日 |
| 夏季休業 | 8月13日～8月15日 |
| 冬季休業 | 12月30日～1月 3日 |
| (3) 営業時間 | ふくろうカフェ 10:00～14:00
ふくろう広場 随時 |
| (4) 勤務体制 | パートタイムによるシフト制 |
| (5) 取り組み事業項目 | <ul style="list-style-type: none">・子育て支援事業・障害者福祉に関する総合的相談事業・学習支援事業・多世代の居場所事業・情報発信事業 |

活動内容

(1) ふくろうカフェ

一人暮らし高齢者や子育て世代などが近隣住民と交流する場や、利用者の作品を販売して障害への理解と利用者の就労のサポートをする場の提供

(2) 野菜販売

しいのみ農園で栽培した野菜の委託販売

(3) 小物販売

事業所で作成した小物の委託販売

(4) はぴママお茶会

発達障害と思われるような乳幼児から小学生までの子育て中の保護者の不安感を軽減するための子育て支援

(5) 言の葉の会

ひきこもりの小学生から青年までの親子を対象にし、他者と関わりや手作業を通じて社会参加につなげていくための勉強会

陶芸教室

講師を招き、土いじりを通して一人一人の創造性を引き出す創作活動

手芸教室

決められたルールに基づき、見本と同様の作品完成をめざす創作活動

業務内容

(1) マネージメント

事業ごとの報告書の作成。スタッフ同士の情報共有を図るためのスタッフミーティングの開催。1号店との連携。シフト表の作成。事業の企画と実施。

(2) カフェの運営

室内の環境整備と呈茶の準備。傾聴に心がけた接客と地域へしいのみ園の情報発信。図書の管理。

(3) ふくろう広場の運営

はぴママお茶会、言の葉の会、地域活動への協力、陶芸教室や手芸教室の支援、地域からの相談

(4) 販売

野菜、手作り小物の販売

その他

利用状況

(1) ふくろうカフェ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	累計
開室日数	8	10	22	19	20	20	20	20	19	19	20	22	219
利用者数	51	53	135	101	76	126	134	134	88	125	147	191	1361

(2) はぴママお茶会

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	累計
開催日数	2	2	1	2	2	2	2	2	1	2	2	2	22
利用者数	6	5	2	8	13	6	9	10	5	15	7	10	96

V. しいのみ園グループ委員会

1. 防災管理委員会

作成者 岩沼圭子

運営総括

地震、火事を想定した避難訓練を行い災害時にスムーズに避難できるよう訓練を行っている。消火訓練では実際に水消火器や簡易消火栓を作動する訓練も実施した。また、災害時の備えとして防災備品や非常食を各事業所に配置し、管理を行っている。

事業内容

しいのみ園グループ職員の防災意識の向上・技術の習得（積極的な外部研修への参加）・防災備品の管理・非常食の管理、消防計画の作成、見直しを行い非常災害時に備える。

防災物品の備品状況

購入備品名	個数	有効期限	保管場所
発電機	2	-	しいのみ園防災倉庫
タープ	2	-	しいのみ園防災倉庫
防災食		33年12月	全事業所に1日3食3日分 200人分 ※
懐中電灯	20		しいのみ 10 ところ 3 ほんだ 5 都 2
非常用下水	不明		4ヶ所が多数
拡声器	2		しいのみ園事務所
救急箱 工具セット	各4		しいのみ園防災倉庫 2 しいのみ園ところ 1 しいのみ園ところの都 1
ヘルメット	46		しいのみ園事務所 14 しいのみ 1F 支援員室 10 しいのみ 2F 支援員室 10 しいのみ園ところ 5 しいのみ園ところの都 7
防災頭巾	74		しいのみ 1F 支援員室 25 しいのみ 2F 支援員室 25 しいのみ園あゆみ 6 しいのみ園のぞみ 6 しいのみ園ひかり 6 しいのみ園つばさ 6 しいのみ園さくら 6

※防災食については給食委員会で管理

活動報告

(1) 消防、消防訓練、防災教育等の実施状況（しいのみ園）

実施日	訓練名	訓練内容
6/24	救急救命講習	目的 : AED を用いた心肺蘇生法、異物除去の救命処置と止血法を学ぶ。 時間 : 13:00~16:00 内容 : マネキン、AED を使いながら胸骨圧迫、人工呼吸を実践。救命措置、止血法の訓練。
10/25	夜間想定避難訓練	目的 : 夜間災害を想定し、少ない職員数で対応できるよう訓練する。 時間 : 10:00~11:00 内容 : 少人数で避難誘導実施。 参加者 : 利用者 40 名 職員 3 名 合計 43 名
3/10	総合防災訓練	目的 : 火災に対して避難誘導技術の習得を図る。 時間 : 9:30~10:00 参加者 : 利用者 50 名 職員 20 名 合計 70 名

(2) 消防、消防訓練、防災教育等の実施状況（しいのみ園こころ）

実施日	訓練名	訓練内容
2/22	地震想定訓練	目的 : 地震発生時の避難誘導技術の習得を図る 時間 : 10:30~11:00 参加者 : 利用者 20 名 職員 5 名 合計 25 名
3/21	総合防災訓練	目的 : 地震・火災に対して避難誘導技術の習得を図る。 時間 : 10:30~11:00 参加者 : 利用者 20 名 職員 6 名 合計 26 名

(3) 消防、消防訓練、防災教育等の実施状況（しいのみ園ほんだ）

実施日	訓練名	訓練内容
10/14	総合防災訓練 (あゆみ寮・のぞみ寮・ ひかり寮)	目的 : 火災に対して避難誘導技術の習得を図る。 時間 : 9:30~10:00 参加者 : 利用者 18 名 職員 5 名 合計 23 名

(4) 消防、消防訓練、防災教育等の実施状況（しいのみ園こころの都）

実施日	訓練名	訓練内容
8/2	総合防災訓練	目的 : 地震・火災に対して避難誘導・散水技術の習得を図る。 時間 : 10:30~11:00 参加者 : 利用者 25 名 職員 10 名 合計 35 名
3/16	総合防災訓練	目的 : 地震に対して避難誘導技術の習得を図る。 時間 : 10:30~11:00 参加者 : 利用者 19 名 職員 10 名 合計 40 名

2. 給食委員会

作成者 安藤成昭

運営総括

利用者一人ひとりに対して、適切な食事形態での提供ができているのか確認し、月に1回検討し、改善していった。また、食事環境を見直し、食堂のレイアウトや配膳者の身支度の徹底、安全面、衛生面の観点からウォーターサーバーの入れ替えや殺虫灯の設置検討を行った。また、災害時の防災食についても栄養士を交え、1日の献立やカロリーを考え、災害時にも利用者が食べやすい形態のものを購入した。

事業内容

- (1) 食事形態の確認、見直し
利用者様の食事形態についての検討会を実施し、必要に応じて変更していった。
- (2) 食事環境の確認、見直し
食堂内の飾り付け等を衛生面、安全面の観点から中止とした。
- (3) 趣向調査、セレクト食・行事食の導入
毎月のセレクト食の中に法人全体でのセレクト食を取り入れた。
- (4) 健康チェック
看護師、栄養士と連携し、それぞれの健康状態に適した、安心安全な食事提供を行った。

活動報告

- (1) 防災食の購入
- (2) ウォーターサーバーの入れ替え
- (3) セレクト食の実施（毎月）
- (4) おかわりチェック表の作成
- (5) 食事形態の検討会（毎月）

3. 衛生委員会

作成者 尹 スルギ

運営総括

事業所の労働安全衛生を考え4月～3月までテーマを決めて2ヵ月1回委員会を開催し、話し合いを行った。室内温度の管理等での改善のため、各事業所で定期的に温度チェックを行い、適切な労働環境の構築を行ってきた。また、ストレスの少ない職場づくりを行う為のアンケート実施や職場環境の向上に向けて危険個所の調査を行うなど環境改善に取り組んできた。

事業内容

- (1) 職場環境（労働安全衛生）の向上
- (2) 職場の健康管理
- (3) 安全運転の推進
- (4) 職員のメンタルヘルスケア

活動報告

- 5月・・・5月病対策について
- 7月・・・夏バテ防止について
- 9月・・・事業所内危険カ所パトロール
- 11月・・・ノロウイルスについて
- 1月・・・メンタルヘルスケア
- 2月・・・来年度テーマ選定

VI. 決算報告

1、貸借対照表

法人名 社会福祉法人 心友会

平成29年 5月15日 Page: 1

法人単位貸借対照表

平成29年 3月31日現在

第三号第一様式（第七条関係）

(単位: 円)

資 産 の 部			負 債 の 部				
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	329,875,152	379,252,823	-49,377,671	流動負債	105,843,429	156,746,812	-60,903,383
現金預金	210,988,690	243,036,764	-32,048,074	事業未払金	32,066,027	35,355,996	-3,289,968
事業未収金	97,450,004	102,697,400	-5,247,396	その他の未払金	50,000,000	108,081,231	-58,081,231
未収金	17,153,694	15,090,727	2,062,967	1年以内返済予定設備資金借入金	5,840,000	5,840,000	
未収補助金	2,031,856	16,727,380	-14,695,524	1年以内返済予定長期運営資金借入金	1,992,000	1,992,000	
立替金	618,866		618,866	1年以内返済予定事業区分間長期借入金	1,600,000	1,600,000	
1年以内回収予定事業区分間長期貸付金	1,600,000	1,600,000		未払費用	341,460	341,460	
仮払金	32,042	100,552	-68,510	預り金		96,556	96,556
固定資産	780,896,153	753,984,926	26,911,227	職員預り金	3,903,994	3,468,925	435,069
基本財産	330,742,857	343,677,613	-12,934,756	仮受金		4,392	4,392
土地	22,038,000	22,038,000		賞与引当金	10,000,000	10,000,000	
建物	308,704,857	321,639,613	-12,934,756	固定負債	43,063,943	51,310,823	-8,246,880
その他の固定資産	450,153,296	410,307,313	39,845,983	設備資金借入金	29,200,000	35,040,000	-5,840,000
土地	29,987,716	29,987,716		長期運営資金借入金	2,032,000	4,024,000	-1,992,000
建物	85,073,085	42,642,065	42,431,020	事業区分間長期借入金	4,316,464	5,915,884	-1,599,420
建物付属設備	134,375,388	143,448,683	-9,073,295	退職給付引当金	6,121,250	4,595,250	1,526,000
構築物	22,427,616	13,288,355	9,139,261	長期未払金	1,394,229	1,735,689	-341,460
機械及び装置	255,067	357,854	-102,787	負債の部合計	148,907,372	218,057,635	-69,150,263
車両運搬具	15,292,272	17,422,665	-2,130,393				
器具及び備品	17,211,753	17,155,356	56,397				
ソフトウェア	553,400	954,200	-400,800				
事業区分間長期貸付金	4,316,464	5,915,884	-1,599,420				
退職給付引当資産	6,121,250	4,595,250	1,526,000				
施設整備積立資産	82,498,885	82,498,885					
修繕積立資産	51,700,000	51,700,000					
差入保証金	340,400	340,400					
資産の部合計	1,110,771,305	1,133,237,749	-22,466,444	純資産の部	22,038,000	22,038,000	
				基本金	22,038,000	22,038,000	
				国庫補助金等特別積立金	302,955,277	324,333,232	-21,377,955
				国庫補助金等特別積立金	302,955,277	324,333,232	-21,377,955
				その他の積立金	134,198,885	134,198,885	
				施設整備積立金	82,498,885	82,498,885	
				修繕積立金	51,700,000	51,700,000	
				次期繰越活動増減差額	502,671,771	434,610,997	68,060,774
				次期繰越活動増減差額	502,671,771	434,610,997	68,060,774
				(うち当期活動増減差額)	68,060,774	23,886,515	44,174,259
				純資産の部合計	961,863,933	915,180,114	46,683,819
				負債及び純資産の部合計	1,110,771,305	1,133,237,749	-22,466,444

附注

1. 減価償却費の累計額
2. 繰取不能引当金の額

2、事業活動計算書

法人名 社会福祉法人 心友会

平成29年 5月15日 Page: 1

法人単位事業活動計算書

(自) 平成28年 4月 1日 (至) 平成29年 3月31日

第二号第一様式 (第七条関係)

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算	前年度決算	増減	
サービス活動増減の部	収	就労支援事業収益	7,696,091	7,564,362	131,729
		障害福祉サービス等事業収益	623,506,673	596,314,990	27,191,683
		生産活動収益	490,828	246,996	243,832
		その他の収益	13,760	6,020	7,740
		経常経費寄附金収益	10,000	10,000	
		サービス活動収益計(1)	631,717,352	604,142,368	27,574,984
	費	人件費	374,286,620	351,212,525	23,074,095
		事業費	63,734,388	62,898,838	835,550
		事務費	93,120,394	77,650,354	15,470,040
		就労支援事業費用	7,915,197	7,065,477	849,720
	減価償却費	50,187,434	41,377,753	8,809,681	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-22,306,955	-21,381,180	-925,775	
	サービス活動費用計(2)	566,937,078	518,823,767	48,113,311	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	64,780,274	85,318,601	-20,538,327	
サービス活動外増減の部	収	借入金利息補助金収益	337,260	385,440	-48,180
		受取利息配当金収益	16,466	64,633	-48,167
		その他のサービス活動外収益	6,230,560	7,006,850	-776,290
		サービス活動外収益計(4)	6,584,286	7,456,923	-872,637
	費	支払利息	506,153	592,233	-86,080
		その他のサービス活動外費用	5,861,304	6,157,014	-295,710
	サービス活動外費用計(5)	6,367,457	6,749,247	-381,790	
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	216,829	707,676	-490,847	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	64,997,103	86,026,277	-21,029,174	
特別増減の部	収	施設整備等補助金収益	4,380,000	20,314,000	-15,934,000
		固定資産売却益	390,834		390,834
		その他の特別収益		40,705,305	-40,705,305
		特別収益計(8)	4,770,834	61,019,305	-56,248,471
	費	固定資産売却損・処分損	370,963	12,500	358,463
		国庫補助金等特別積立金積立額	930,000	19,136,000	-18,206,000
	その他の特別損失		104,010,567	-104,010,567	
	特別費用計(9)	1,300,963	123,159,067	-121,858,104	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	3,469,871	-62,139,762	65,609,633	
	税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	68,466,974	23,886,515	44,580,459	
	法人税、住民税及び事業税(12)	406,200		406,200	
	法人税等調整額(13)				
	当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13)	68,060,774	23,886,515	44,174,259	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(15)	434,610,997	402,923,367	31,687,630
		当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	502,671,771	426,809,882	75,861,889
		基本金取崩額(17)			
		その他の積立金取崩額(18)	50,000,000	100,000,000	-50,000,000
		その他の積立金積立額(19)	50,000,000	92,198,885	-42,198,885
	次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)-(19)	502,671,771	434,610,997	68,060,774	

3、資金収支計算書

法人名 社会福祉法人 心友会

平成29年 5月15日 Page: 1

法人単位資金収支計算書

(自) 平成28年 4月 1日 (至) 平成29年 3月31日

第一号第一様式 (第七条関係)

(単位: 円)

勘定科目		予 算	決 算	差 異		
事業活動による収支	収	就労支援事業収入	7,520,000	7,696,091	176,091	
		障害福祉サービス等事業収入	624,062,000	623,506,673	-555,327	
		生産活動収入	494,000	490,828	-3,172	
		その他の収入	14,000	13,760	-240	
	入	借入金利息補助金収入	338,000	337,260	-740	
		経常経費寄附金収入	10,000	10,000		
		受取利息配当金収入	18,000	16,466	-1,534	
		その他の収入	6,187,000	6,228,934	41,934	
		事業活動収入計(1)	638,643,000	638,300,012	-342,988	
	支	出	人件費支出	380,132,000	372,656,869	7,475,131
	事業費支出	63,834,000	63,734,388	99,612		
	事務費支出	92,174,000	93,120,394	-946,394		
	就労支援事業支出	6,650,000	7,145,854	-495,854		
	支払利息支出	507,000	506,153	847		
	その他の支出	5,832,000	5,861,304	-29,304		
	法人税、住民税及び事業税支出		406,200	-406,200		
	事業活動支出計(2)	549,129,000	543,431,162	5,697,838		
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	89,514,000	94,868,850	5,354,850		
施設整備等による収支	収	施設整備等補助金収入	4,380,000	4,380,000		
		固定資産売却収入	895,000	895,000		
		施設整備等収入計(4)	5,275,000	5,275,000		
	支	出	設備資金借入金元金償還支出	5,840,000	5,840,000	
	固定資産取得支出	79,249,000	78,816,553	432,447		
	施設整備等支出計(5)	85,089,000	84,656,553	432,447		
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-79,814,000	-79,381,553	432,447		
その他の活動による収支	収	入	積立資産取崩収入	50,000,000	50,000,000	
		事業区分間長期貸付金回収収入	1,600,000	1,599,420	-580	
		事業区分間繰入金収入	6,000,000	3,000,000	-3,000,000	
		拠点区分間繰入金収入	58,000,000		-58,000,000	
		サービス区分間繰入金収入	6,670,000		-6,670,000	
		その他の活動収入計(7)	122,270,000	54,599,420	-67,670,580	
	支	出	長期運営資金借入金元金償還支出	1,992,000	1,992,000	
		積立資産支出	1,625,000	51,628,125	-50,003,125	
		事業区分間長期借入金返済支出	1,600,000	1,599,420	580	
		事業区分間繰入金支出	6,000,000	3,000,000	3,000,000	
	拠点区分間繰入金支出	58,000,000		58,000,000		
	サービス区分間繰入金支出	6,670,000		6,670,000		
	その他の活動による支出	342,000	341,460	540		
	その他の活動支出計(8)	76,229,000	58,561,005	17,667,995		
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	46,041,000	-3,961,585	-50,002,585		
	予備費支出(10)					
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	55,741,000	11,525,712	-44,215,288		
	前期末支払資金残高(12)		230,679,471	230,679,471		
	当期末支払資金残高(11)+(12)	55,741,000	242,205,183	186,464,183		

4、経営指標（2期分 法人全体）

経営指標	各指標	平成 26 年度	平成 27 年度	前年度対比 (適正值)
収益性	事業活動収入	604,142	631,717	104.5%
	事業活動支出	518,823	566,935	109.2%
	事業活動収支差額	85,318	64,781	75.9%
	収支差額率	14.1%	10.3%	(10%前後)
合理性	人件費率	56.7%	58.1%	(65%以内)
	材料費率	10.1%	9.8%	(15%以内)
	減価償却費率	10.1%	11.2%	(3%以内)
	委託比率	3.2%	5.2%	(8.5%以内)
	経費率	9.1%	8.7%	(5.5%以内)
生産性	職員一人あたり事業収入	590	617	104.5%
	労働生産性	437	442	101.1%
	労働分配率	72%	71%	(80%前後)

単位：千円

5. 人事記録

社会福祉法人心友会 人事記録(法人全体)

職員体制 (平成29年3月31日)

職 種	男性職員			女性職員			合計			常勤換算
	正規	準職員	パート	正規	準職員	パート	正規	準職員	パート	
管理者	1						1	0	0	1.00
生活支援員	17	5	25	23	3	36	40	8	61	82.00
看護師				1		3	1	0	3	3.00
栄養士					1		0	1	0	1.00
相談員			1				0	0	1	0.40
事務員					4	1	0	4	1	5.00
合計	18	5	26	24	8	40	42	13	66	92.40

職員年齢構成比 (平成29年3月31日)

年齢と性別	年齢区分	年齢区分									計
		20歳未満	20代	30代	40代	50代	65歳未満	65歳以上			
	男	正規	0	10	6	2	2	0	3		23
	非正規	0	1	1	2	2	4	16		26	
女	正規	0	20	1	6	4	2	0		33	
	非正規	0	1	1	15	8	10	4		39	
計	正規	0人	30人	7人	8人	6人	2人	3人		56人	
	非正規	0人	2人	2人	17人	10人	14人	20人		65人	
同一法人内での勤務年数	勤務年数	1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	15年未満	20年未満	20年以上		計	
	男	正規	2	3	3	13	2	0	0	23	
		非正規	3	10	3	8	2	0	0	26	
	女	正規	4	14	5	8	2	0	0	33	
		非正規	10	14	11	2	2	0	0	39	
計	正規	6人	17人	8人	21人	4人	0人	0人		56人	
	非正規	13人	24人	14人	10人	4人	0人	0人		65人	

職員の勤務体制

職 種	勤 務 体 制	
管 理 者	日 勤 8:30 ~ 17:30 常勤で勤務	
生 活 支 援 員	早 番 日 勤 6:00 ~ 15:00	
	日 勤 8:30 ~ 17:30	
	遅 番 日 勤 12:00 ~ 21:00	
	管 理 宿 直 日 勤 8:30 ~ 9:30	
夜 勤 日 勤 17:30 ~ 9:30	入所施設は管理宿直と合わせて毎日3名体制	
世 話 人	日 勤 8:30 ~ 17:30	土日を中心に日中支援
	夜 勤 日 勤 16:00 ~ 9:30	グループホームは1施設1人の夜勤世話人が常駐
看 護 師	日 勤 8:30 ~ 17:30	夜間、休日でも対応します
栄 養 士	日 勤 8:30 ~ 17:30	
事 務 員	日 勤 8:30 ~ 17:30	
相 談 員	日 勤 8:30 ~ 17:30	

職員の割合、平成28年度資格取得者、有資格者について

職員区分	職員数	割合	資格名	取得人数	保有資格	人数
正規職員	42	34.71%	介 護 福 祉 士	3名取得	社会福祉士	4名
準職員	13	10.74%	知 的 障 害 福 祉 士	2名取得	介護福祉士	19名
パート職員	66	54.55%	知 的 障 害 者 援 助 専 門 員	1名取得	福祉施設士	3名
合計	121	100.00%	福 祉 施 設 士	1名取得	知的障害福祉士	3名
			福 祉 住 環 境 コーディネーター2級	1名取得	知的障害者援助専門員	25名
			簿 記 3 級	2名取得	保育士	12名
					介護支援専門員	3名
					看護師(準看護師含む)	4名
					管理栄養士	1名
					衛生管理者	1名
					福祉住環境コーディネーター2級	10名
					秘書検定2級	6名

